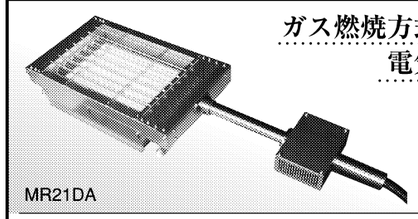
成功を後押しするビューラーのダイカスト技術
ビューラーは、150年以上にわたり、一層の効率化を目指して走り続けています。高い生産性を誇るシステムとプロセスにより、単価の削減、品質の向上、そして生産の最適化を実現します。きめ細やかな鋳造技術、他に類のないサービスをご提供し、お客様の生産プロセスの効率化をご支援いたします。

ビューラー株式会社　〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-22-11 Tel.045-477-3000 Fax.045-477-3030
Email: buhler.japan@buhlergroup.com　www.buhlergroup.com/die-casting

Innovations for a better world.　BÜHLER

熱を知り、熱を操る!!
HIGH POWER 金型加熱器



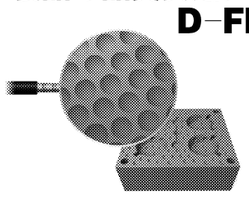
ガス燃焼方式から
電気加熱へ転換
・昇温時間短縮
・温度ムラ解消
・CO_2削除
・安全性向上
MR21DA

METRO メトロ電気工業株式会社
本社・愛知工場　愛知県安城市横山町寺田11番地1　TEL 0566-75-8811　FAX 0566-75-0171
島根工場　島根県雲南市加茂町南加茂687番地13　TEL 0854-49-9122　FAX 0854-49-7811
URL http://www.metro-co.com

ST SUTAI
含浸液回収総合システム
SKISS
特許番号
特許第5632137号

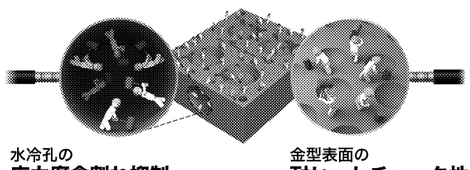
しっかり分離　しっかり回収
含浸液と洗浄水を回収して
再利用することで環境負荷を大きく低減できます。
株式会社 スタイ
本社・工場　〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町67番16　TEL.(0533)68-1366　FAX.(0533)68-1367
蒲郡三谷工場・蒲郡流通センター　E-mail：info@sutai.jp
タイ工場（SUTAI（THAILAND）CO.,LTD）　TEL.+66(0)38950024　FAX.+66(0)38950025
500/161 Moo.3 Tambol Tasit, Amphur Pluakdaeng, Rayong, 21140, Thailand
http://www.sutai.jp

製品の品質安定に
D-FLOW



鋳造不良を削減

金型の長寿命化に
D-SCC・D-CHECK



水冷孔の
応力腐食割れ抑制
金型表面の
耐ヒートチェック性向上

sinto
New Harmony≫New Solutions™
新東工業株式会社
〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番11号
Tel 052 582 9211　Fax 052 586 2279
www.sinto.co.jp

産業界の発展に貢献する

日本ダイカスト協会 創立60周年

きょう記念式典

日本ダイカスト協会は2015年11月に創立60周年を迎えるのを記念して、きょう21日15時から東京都港区台場のホテル日航東京で創立60周年記念式典を開催する。ダイカスト産業は薄肉、軽量化、リサイクル性といった時代のニーズに対応した基幹産業であり、自動車産業など産業界の成長に広く貢献している。同協会はダイカスト産業の健全な発展を図るとともに、関連産業の振興に寄与してきた。より一層の発展のために、調査研究、標準化の推進、広報活動など業界の基盤強化に向けた事業を行う。

成長継続へ基盤強化

品質・コストさらに向上

14年11月にパシフィコ横浜で開かれた2014日本ダイカスト会議・展示会

日本ダイカスト協会は1955年11月26日に「日本ダイカスト工業会」として設立された。56年度に日刊工業新聞主催の機械工業展（日比谷公園）にダイカスト製品を出品。また、技術文献、参考資料などの収集配布にも着手した。59年度には日本ダイカスト工業会の基礎の確立に伴い、工業会の権利、義務の一切を継承し、「社団法人日本ダイカスト協会」に改組。67年度には「日本ダイカスト会議・展示会」の前身である「第1回ダイカスト研究発表会」を開催。現在、日本ダイカスト会議・展示会を隔年で開催し、最先端技術の研究論文発表やパネルディスカッション、現場改善事例発表を行っている。また、最新の設備機器、製品を紹介している。

ダイカストとは、アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、銅などの溶融合金を精密な金型の中に高圧力を加えて圧入して、高精度で鋳肌の優れた鋳物を短時間に大量生産する鋳造方式のことだ。ダイカストの構成要素として、ダイカストマシン、原材料、金型がある。

ダイカスト業界を取り巻く経済状況をみると、自動車産業の活性によって2004年以降、ダイカスト国内総生産量が増加し、07年には116万トンで最多の生産量となった。しかし、08年秋のリーマン・ショックが急激な減産を招き、09年の総生産量も75万6000トンと大幅に落ち込んだ。その後回復に転じたものの、11年3月に発生した東日本大震災や世界経済の減速、超円高などを背景として、再び減少に転じた。12年以降は総生産量が100万トン近辺で推移。

14年のダイカスト国内総生産量は前年比1・6%増の100万260トンで、辛うじて前年を上回り2年ぶりに100万トンを超えた。14年の総生産金額は同3・2%増の5867億1900万円だった。

ダイカストの用途は生産量比で約88%が自動車用であり、今後も自動車業界の動向によってダイカスト業界の景況は影響されると想定されている。

同協会では将来展望として、ダイカスト産業が今後も成長する産業であり続けるためには、海外展開を経営戦略の一つの選択肢としてとらえる。それとともに、国内生産を維持し続けるためにはアジア諸国の一歩先を行く技術・工法などを開発し、品質・コスト両面で負けないものを作っていく必要がある。また、そのための人材育成も重要であるとしている。

ごあいさつ　日本ダイカスト協会会長　高橋　新

技術力で未来を切り開く

一般社団法人日本ダイカスト協会は、本年11月26日をもって創立60周年の記念日を迎えます。これはひとえに多くの需要家の皆さまのご愛顧、会員の皆さまとともに協会活動を支えた歴代会長並びに各役員、事務局員のたゆまぬ活動、そして官界、学会のご支援のたまものであり、ここにめでたく祝賀の日を迎えることができましたことは誠に喜びに堪えません。心より厚くお礼を申し上げます。

最近のわが国経済は、「緊急経済対策」など政府の各種政策の推進や政労使の取り組みにより緩やかな回復基調が続いているものの個人消費などにいまだ力強さを実感できない状況が続いております。当業界におきましても、為替水準の好影響による原材料価格、燃料価格など経営環境に一筋の光明もうかがえますが、国内生産環境は依然厳しい状況が続いております。

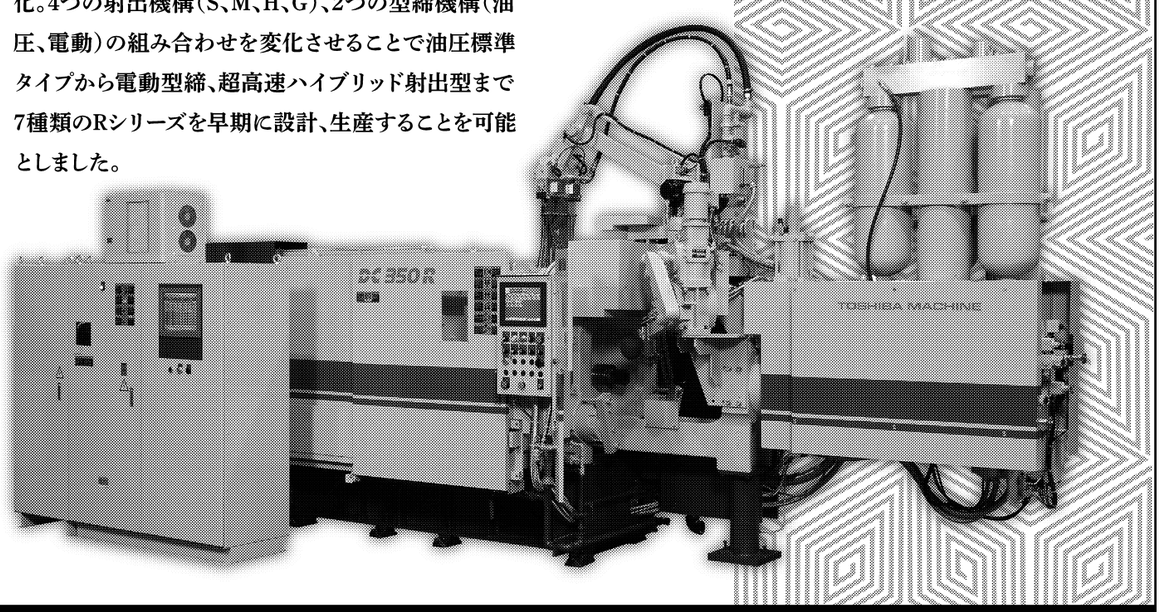
創立60周年を迎えるにあたり、この60年間を振り返ってみますと、協会が設立された1955年のダイカストの年間生産量はわずか6000トンでありましたが、当ダイカスト業界は総じて右肩上がりに堅調に推移し、50年後の2005年には106万トンと初めて100万トンの大台に乗り、07年は116万トンとピークに達しました。その後、08年のリーマン・ショックや11年の東日本大震災により生産が落ち込み、加えて円高下における顧客の海外展開の影響により近年の国内生産量は100万トン前後を推移しております。好調に需要が増加してきたこれまでと比較して今後のダイカスト国内需要動向には不安が残る状況であります。需要家の皆さまには、日本のダイカスト産業の総合力をご理解いただき、日本国内での需要の維持と拡大をぜひお願い申し上げる次第です。

日本のダイカスト産業は今日まで、優れた部品の供給を通じて、自動車、一般機械、電気機械、その他関連産業の発展に貢献したものと自負しております。今後さらに健全に発展していくためには、モノづくり力のさらなる強化や新たな需要創出に加えて個々の企業体力に応じた海外展開などが求められていくものと思っております。その道は決して平たんではありませんが、私たちが長年培ってきた技術力や匠（たくみ）の技を生かすことにより必ずや未来を切り開いて行けるもの信じております。

協会といたしましては、08年度の4ダイカスト工業協同組合との「事業統合」を契機に、より一層日本のダイカスト産業発展のために、人材の育成、技術などに関する調査研究、標準化の推進、認知度向上のための広報活動など業界の基盤強化に向けた事業を行い、ダイカスト事業者および関連事業者の皆さまに貢献できるよう努めて参ります。

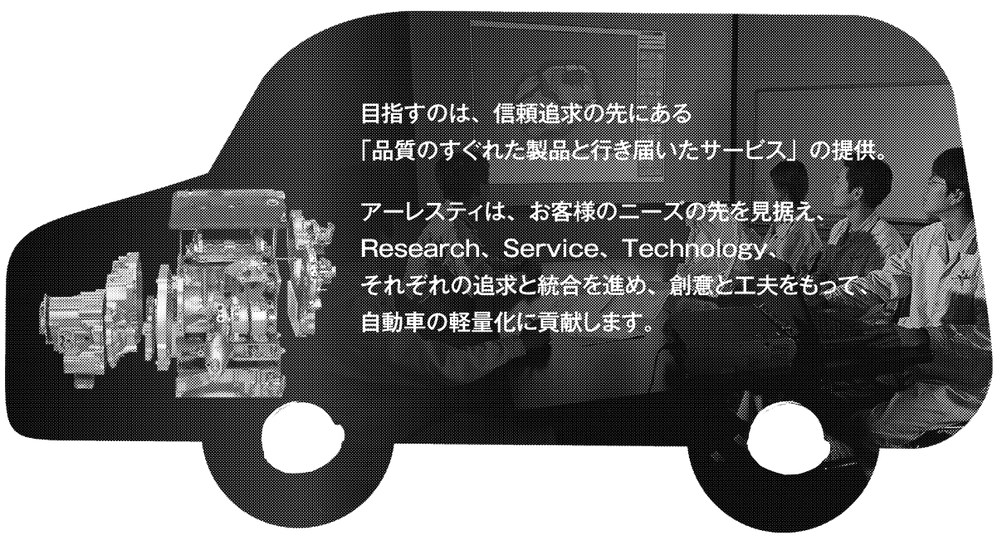
最後に、本日の記念すべき60周年記念式典にあたり、当協会をご支援くださいました各界の皆さまに重ねてお礼申し上げるとともに、引き続き変わらぬご指導、ご鞭撻（べんたつ）をお願いいたします。

独自の開発手法のモジュール設計、ユニット生産による
新型ダイカストマシンRシリーズ
3つのモジュール（射出部、型締部、フレーム部）を共通化。4つの射出機構（S、M、H、G）、2つの型締機構（油圧、電動）の組み合わせを変化させることで油圧標準タイプから電動型締、超高速ハイブリッド射出型まで7種類のRシリーズを早期に設計、生産することを可能としました。



DC350R-EG, DC350R-EH, DC350R-Sなど7種類のRシリーズ
東芝機械株式会社　ダイカストマシン営業部
東京本店／〒100-8503　東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 4F
TEL. (03) 3509-0235　FAX. (03) 3509-0332
http://www.toshiba-machine.co.jp

Ahresty
Casting Our Eyes on the Future
視線はまっすぐ未来へ
目指すのは、信頼追求の先にある
「品質のすぐれた製品と行き届いたサービス」の提供。



信頼を究める
株式会社 アーレスティ
証券コード：5852
本社　〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原 1-2
Tel：0532-65-2170　Fax：0532-65-2163
東京本社　〒164-0012 東京都中野区本町 2-46-1 中野坂上サンブライトツイン 5F
Tel：03-6369-8660　Fax：03-5358-5331　http://www.ahresty.co.jp